

愛媛県災害時要配慮者支援チーム

JRAT [災害リハビリテーション支援チーム]



DWAT [災害派遣福祉チーム]

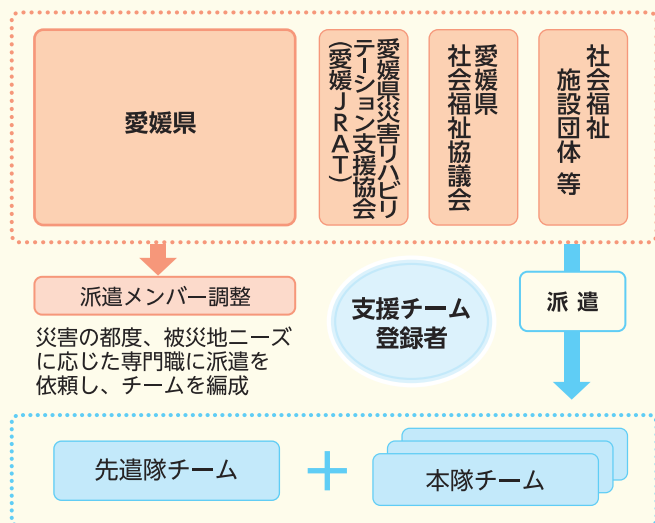
愛媛県災害時要配慮者支援チームとは

- 避難所や福祉避難所等で被災者に対して応急的な介護や生活相談などの福祉的支援活動を行うDWATと被災者の生活不活発病やエコノミークラス症候群などを予防し、避難所環境整備を行うJRATが協力して支援を行うチームです。
- 災害発生時、被災した住民等に対して、多職種が連携して災害関連死などの二次被害の防止に取り組むとともに、生活再建につなげられるよう支援します。
- 愛媛県からの派遣要請に基づき、主に一般避難所に派遣される公的なチームです。
 - ・1チーム2～6名程度（職種構成や性別にも配慮してチームを組成します）
 - ・1チームにつき、活動目安は5日間程度



派遣の流れ・チーム登録者

支援チームの派遣体制



愛媛県災害時要配慮者支援チーム登録者数

236名 (令和7年1月1日時点)

圏域	医療・保健・福祉職等
松山市保健所圏域	79名
今治保健所圏域	39名
中予保健所圏域	33名
西条保健所圏域	38名
四国中央保健所圏域	7名
八幡浜保健所圏域	26名
宇和島保健所圏域	14名

活動実績

平常時

啓発活動の一環として、県及び市町の防災訓練に参加・協力し、訓練の目的や要望に応じて様々な活動をしています。これまでの訓練への協力内容としては、福祉避難所運営のポイントやエコノミークラス症候群予防についての講話、体操指導、避難所アセスメントやスクリーニング等の活動をしています。

市町が実施する総合防災訓練に、チームの参加協力をご希望する担当者様は裏面の「愛媛県社会福祉協議会法人振興課」までご連絡ください。



避難所設置・運営訓練の様子



相談窓口の設置



生活不活発病予防の体操指導

平成30年7月 豪雨災害

期 間：平成30年7月9日～8月14日

活 動 市 町：西予市・大洲市

派 遣 人 数：16チーム56名

※医師6名、理学療法士34名、作業療法士7名
言語聴覚士2名、介護福祉士2名、社会福祉士4名
介護支援専門員1名

主な活動内容：避難所の環境評価及び改善

避難者（要配慮者）のアセスメント

エコノミッククラス症候群、生活不活発病予防体操指導 など



ダンボールベッドの設置



アセスメント・個別指導



令和6年 能登半島地震

期 間：令和6年2月16日～29日

活 動 市 町：金沢市内1.5次避難所、七尾市内避難所等

派 遣 人 数：4チーム12名

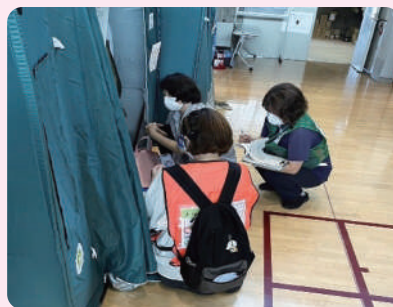
※社会福祉士9名、介護福祉士1名、介護支援専門員2名

主な活動内容：相談支援（なんでも相談）、要配慮者へのアセスメント

日常生活支援、避難所退所にむけての相談・援助 など



なんでも相談窓口



避難者のニーズ聴取



他支援チームとの情報共有

お問い合わせ先

愛媛県社会福祉協議会 総務企画部 法人振興課

TEL 089-921-8566

愛媛県 保健福祉部 社会福祉医療局 保健福祉課 企画係

TEL 089-912-2383



愛媛県ホームページ

[令和7年2月作成]